慶應義塾醫學部新聞

發行所　慶大醫學部新聞部　新宿區四谷町35
發行人　鈴木閑夫
編集人　小林文雄
月刊　毎月十日發行

草間教授渡米決定

九月下旬出發豫定

今般、慶應義塾醫學部草間教授は醫學教育の視察のための長期の日本人として渡米する事になった旨は前報した通りであるが、その出發豫定日は九月下旬の模様である。

草間教授は、アメリカ文部省の招聘により、約四ヶ月の滞在で、アメリカの醫学教育の視察を目的とする事となった。九月下旬出發して翌年の二月に歸って來るつもりである。

その間アメリカの醫学教育に關する最近の傾向を視察し、帰朝後、本邦の醫学教育の方法と内容について、研究したいと思つてゐる。

アメリカは戦後の第二の故郷と思つてゐる。

「ロックフェラー財團の招聘者の資格を引きおこしたが、新しい第一の刺激である。二、戦後の新しい第一の刺激である。三、戦後の新しい第一の刺激である。四、戦後の新しい第一の刺激である。五、戦後の新しい第一の刺激である。六、戦後の新しい第一の刺激である。七、戦後の新しい第一の刺激である。八、戦後の新しい第一の刺激である。九、戦後の新しい第一の刺激である。十、戦後の新しい第一の刺激である。

「死後轢斷」覆す

法醫學的徵候

下山事件は、依然無んで法醫学的徵候を引きおこしたが、新しい第一の刺激である。二、戦後の新しい第一の刺激である。三、戦後の新しい第一の刺激である。四、戦後の新しい第一の刺激である。五、戦後の新しい第一の刺激である。六、戦後の新しい第一の刺激である。七、戦後の新しい第一の刺激である。八、戦後の新しい第一の刺激である。九、戦後の新しい第一の刺激である。十、戦後の新しい第一の刺激である。

【三田新綾舎】

阿部、佐々木兩氏

東北巡遊より歸る

時評　四年間

—獨立自尊の人間を作れ—

戦後満三年目に入った、思へば二年間の、我々の国と國民のもつ過去の伝統と、新しい教育と、民主主義のミックスとわけもわからず民主主義と思ってしまった。

それから四年目、今、我々の国と國民のもつ過去の伝統が、新しい教育と、民主主義のミックスとわけもわからず民主主義と思ってしまった。

その結果の如く、各々の生活が出来て来た。書いてのべた通りである。

戦後の新しい教育と、民主主義のミックスとわけもわからず民主主義と思ってしまった。

外科學會あとあじ記

隔離・結核病棟の具體案成る

望月教授 岐阜醫大學長に就任

新制大學醫學部に入るには

"日研" ペニシリン
製造元 日本生物科學研究所　販賣元 日本製藥株式會社

黒板

電話物語